

令和8年度 第3学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成 果 ● 課 題
知識・技能	〈国語〉 - 言葉への関心は高く、読書が好きな児童は多い。その一方で、読んでいる本に偏りがある。 - 語彙は十分でなく、国語辞典を使って言葉を調べる技能の定着に個人差がある。	〈国語〉 ○ 言葉の文化 ○ わすれられないおくりもの	図書資料の活用 - 様々な図書資料に触れることができるように、読み聞かせや本の紹介を行う。 言葉調べの活動 - 言葉を調べる技能の定着を図るために、国語辞典を使った言葉調べの活動を継続し、語彙を増やせるようにする。	
思考力・判断力・表現力等	〈算数〉 - 基本的な計算力は身に付いてきたが問題文を読解して解答するなど、思考力に課題がある。 〈全教科〉 - 根拠を示しながら発表する力や、資料を活用しながら発表する力に課題が見られる。	〈算数〉 ○ 大きい数のかけ算をしよう ○ かけ算のひっ算をしよう 〈総合的な学習の時間〉 ○ 学習交流会をしよう	話し合い活動 - 全体交流の前にグループ活動を取り入れるなど、自分の考えを伝える時間を確保する。 学習計画の工夫 - 様々な教科で発表の活動を取り入れ、資料を活用しながら、分かりやすい発表ができることを目指す。交流活動では、他の児童の学び方や発表の仕方を学び合えるようにする。	
学びに向かう力・人間性	〈全教科〉 - どの学習活動に対しても前向きに取り組むことができる。しかし、思い込みで進めてしまい、学習活動のねらいから逸れてしまうことがある。 - 活動に集中できず、予定された時間内で仕上げられない児童が一定数いる。	〈総合的な学習の時間〉 ○ かご町旅行社 〈社会〉 ○ 消ぼうの仕事 ○ けいさつの仕事	学習計画と振り返り - 児童が学習の見通しをもてるように、単元冒頭で学習のねらいや活動の目的、学習のゴールを確認する時間を取る。 - 児童が自分で学習状況を把握できるように、当該時間のねらいや自分のめあてを確かめたり、自分の学習を振り返ったりさせる。	